

ハナショウブしっとりと

神戸・須磨離宮公園で見頃

初夏の水辺をしっとりと彩るハナショウブが、神戸市立須磨離宮公園（同市須磨区東須磨）の花しょうぶ園で見頃を迎えている。早咲きから遅咲きまで約70種6千株をそろえ、今月下旬まで楽しめるという。

アヤメ科の多年草で、湿り気のある土で育つ。アヤメやカキツバタと違って花びらの中心が黄色い。野生のノハナショウブを基に江戸期、園芸種として改良が進んだ。平咲きや垂れ咲きといった形状に加え、単色や絞りなど花の色の多様さも特徴だ。

同園では、日本伝統の品種や外国種に分け、4区域で栽培。今年は紫色に咲く「光源氏」をはじめ、「葵の上」「薫君」といった源氏物語の登場人物にちなんだ品種が来園者の注目を集めていた。

午前9時〜午後5時。木曜休み。入園料は15歳以上400円、小中学生200円。須磨離宮公園 ☎078・732・6688

（長嶺麻子）

上の記事を読んで下の表の空欄を埋めましょう。
また、花は右の写真のどれかを記号で書きましょう。

	花の特徴	育つ場所	A B C
ハナショウブ			
アヤメ	花びらの中心にあみめ模様がある。	乾燥した土	
カキツバタ	花びらの中心が白い。	水の中	



*5月5日端午(たんご)の節句に「しょうぶ湯」として、お風呂に浮かべるショウブは、ハナショウブとは全く違う植物です。大きな花びらのない、ねこじゃらしのような、こん棒状の花をつけます。



NIEワークシートのこたえ（2024年6月11日公開）

◆ワークシート「はなしょうぶ・あやめ・かきつばたの見分け方(理科)」

2024.6.11付 朝刊 1面 解答

	花の特徴	育つ場所	A B C
ハナショウブ	花びらの中心が黄色い。	湿り気のある土	C
アヤメ	花びらの中心にあみめ模様がある。	乾燥した土	A
カキツバタ	花びらの中心が白い。	水の中	B